



Design

～ 3密を避けましょう ～



発行元：地域包括ケア病棟“彩り”・リハビリ科・地域医療連携室

地域包括ケア病棟広報誌Design第57号です。“彩り”で受け入れした事例の紹介、LINEによるテレビ電話面会開始のお知らせなどを掲載しています。（地域医療連携室 室長 南出 弦）

地域包括ケア病棟“彩り”で受け入れした事例の紹介（第53回）

“彩り”から、老健やましろへ

90歳代女性。自宅で転倒し、当院整形外科を受診されました。診察の結果、胸腰椎圧迫骨折の診断で、痛みが軽減するまでの間、地域包括ケア病棟“彩り”へ入院となりました。

入院前は、要介護認定を受けているものの、日常生活はほぼ自立されていたため、介護サービスを利用されていませんでした。“彩り”入院後は、自宅退院を目指して、少しずつ自立を目指す働きかけをおこないました。

数週間で腰痛は軽減したものの、自宅退院にはもう少しADLをアップさせる必要があること、住環境の整備が必要とのことから、一旦は施設への入所を検討することとなり、地域包括ケア病棟“彩り”から当院併設の老健やましろへの入所を目指すこととなりました。

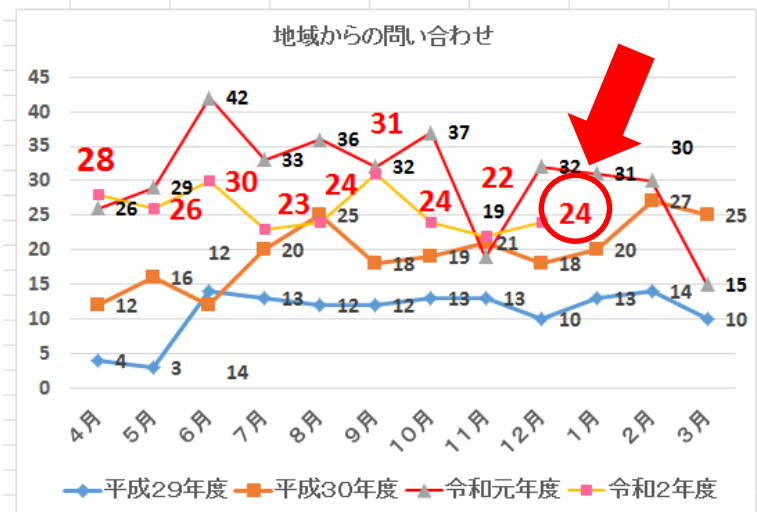
老健やましろ入所後の生活では、集団生活を通してADLの回復を目指すとともに、自宅訪問をして住環境を確認、担当ケアマネジャーと連携して、着々と自宅復帰に向けた準備をすすめているところです。

地域包括ケア病棟“彩り”では、老健やましろと連携して、住み慣れた自宅への復帰を支援することができます。ご要望がございましたらご相談ください。

（地域医療連携室 係長 中嶋 庸介）

令和2年12月の問い合わせの報告

令和3年も宜しくお願いします



令和2年12月は、24件のお問い合わせを頂戴しました。年末年始の入院に関する問い合わせが特に多く、年末年始は11名の患者さんを受け入れさせて頂きました。

令和3年も引き続き、宜しくお願いいたします。

感染拡大防止のご協力をお願いします。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、カンファレンスなど必要な場合を除き、関係機関の皆様のご来院は控えて頂きますようお願いいたします。なお、カンファレンスなどで来院の際も、最少人数でご来院頂きますようお願いいたします。

感染症拡大防止にご協力ください



LINEによるテレビ電話面会開始について

～ 入院患者さんのQOLの向上のために ～



現在、入院患者さんへのご家族の面会は原則、中止とさせて頂いていますが、各病棟に面会用タブレットを配置し、昨年11月16日より、“LINEによるテレビ電話面会”を開始させて頂いています。寝たきりの患者さんや携帯電話やスマートフォンをお持ちでない患者さんが対象となり、“彩り”でもこれまでに数人の患者さんが利用されています。コロナ禍の状況ですが、テレビ電話面会により、少しでも患者さんの入院生活のQOLの向上につながればと思っています。

年末年始の受け入れの報告

～ 11名の患者さんを受け入れさせて頂きました ～

この年末、11名の患者さんを受け入れさせて頂きました。介護者の負担軽減目的が、入院の主な理由でした。この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございます。令和3年も、変わらず地域の皆様からのご依頼により、受け入れさせて頂きますので、お気軽にお問い合わせ下さい。よろしくお願いいたします。

Designのバックナンバーをご覧いただけます。

山城ケア病棟

検索

上記で検索ください。



お気軽にお問い合わせ下さい。

入院のご相談は、以下までお気軽にお問い合わせ下さい。お待ちしております。

TEL 0774-73-1818 (直通)

FAX 0774-72-8891 (直通)

メール ti0001@yamashiro-hp.jp (地域医療連携室)